

【国語】

国 語

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新しい国語
11	学 図	みんなと学ぶ 小学校 国語
17	教 出	ひろがる言葉 小学校国語
38	光 村	国語

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 単元の目標の示し方	各単元における目標の示し方
		② 言葉の特徴や使い方に関する事項	語彙を豊かにするための語句の示し方
		③ 情報の扱い方に関する事項	導入の工夫、辞典の具体例、索引の使い方、調べる活動
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④ 興味・関心を高めるための工夫	実生活とつながりのある事柄を取り上げた単元名、題材、内容
		⑤ 課題解決的な学習を実施するための工夫	課題と学習の進め方
		⑥ 見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫	学習過程の構成、資料、評価活動
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑦ 単元や資料等の配列	配列の特徴・単元数、領域ごとのページ数
		⑧ 伝統と文化に関する内容の記述	伝統的な言語文化に関する単元数・単元名・取り上げられている作品等
(エ)	内容の表現・表記	⑨ 本文記述との適切な関連付けがなされた図表等の活用	文章と図表等との関連について考えさせる記述
		⑩ 巻頭の示し方	巻頭の示し方と内容
(オ)	言語活動の充実	⑪ 考えを伝えるなどして話し合う活動の工夫	単元名、例示されているテーマ・議題、話し合いの形態
		⑫ 学校図書館機能の利活用	学校図書館等の利活用の仕方について示されている内容

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①単元の目標の示し方
方法	各単元における目標の示し方

第6学年 読むこと 説明的な文章				
	単元名	教材名	目標	目標の示し方
			☆は単元の目標	□は学習目標
東書	○ 筆者の論の進め方を確かめよう	○ 「イースター島にはなぜ森林がないのか」	☆ 論の進め方をとらえる（「言葉の力」） □ 「イースター島にはなぜ森林がないのか」を読んで、筆者の論の進め方について考えよう。	☆ 各単元の教材文の前の導入ページに目標を示している。 □ 「言葉の力」の目標を示し、具体的な目標を示している。
学図	○ 視野を広げて読もう	○ 「A Iで言葉と向き合う」	☆ 事例や筆者の主張のもとに、要旨をとらえ、見方を広げたり考えを深めたりしましょう。 ☆ 事例どうしのつながりを確かめ、筆者の論の進め方をとらえましょう。	☆ 各単元の冒頭に目標を示している。 □ 二つの項目にして明確に示している。
教出	○ 筆者の考えを読み、説明の仕方の特徴をとらえよう	○ 「雪は新しいエネルギー」	☆ 筆者の考えを読み、説明の仕方の特徴をとらえよう。 □ 筆者の言いたいことをとらえ、説明の仕方の特徴について考えよう。	☆ 各単元の冒頭に目標を示している。 □ 巻頭の「六年生で学ぶこと」のページに各単元の目標を示している。
光村	○ 筆者の主張や意図をとらえ、自分の考えを発表しよう	○ 「笑うから楽しい」 ○ 「時計の時間と心の時間」	☆ 筆者の主張や意図をとらえ、自分の考えを発表しよう。 □ 筆者の主張を伝えるために、どのような言葉が使われているか確かめよう。 □ 筆者の主張と、それを支える事例の関係をとらえ、自分の考えをまとめよう。	☆ 各単元の冒頭に目標を示している。 □ 具体的な目標を示している。

【国語】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②言葉の特徴や使い方に関する事項
方法	語彙を豊かにするための語句の示し方

	資料名	内容	示し方
東書	○ 「言葉の広場」	○ 人物の行動や気持ち, 性格を表す言葉	○ 「人物の行動」(61語), 「人物の気持ち」(54語), 「人物のせいにかく」(52語)の3項目に分けて示している。
学図	○ 「言葉のへや」	○ 行動を表す言葉	○ 話す(17語), 聞く(6語), 書く(5語), 読む(4語), 見る(5語), 思う(3語), 調べる(5語), その他(3語)などの項目に分けて示している。
教出	○ 「言葉の木」	○ 行動を表す言葉	○ 行動を表す言葉として, 「くらす」(7語), 「動く」(8語), 「かかわる」(7語), 「つたえ合う」(8語)の4項目に分けて示している。
光村	○ 「言葉のたから箱」	○ 考えや気持ちをつたえる言葉	○ 人物を表す言葉(10語), 物や事からの様子を表す言葉(10語), 考え方を表す言葉(6語), 気持ちを表す言葉(25語)の4項目に分けて示している。

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	③情報の扱い方に関する事項
方法	導入の工夫, 辞典の具体例, 索引の使い方, 調べる活動

第4学年 漢字辞典の使い方			
	単元名	内容	
東書	漢字辞典の使い方	導入の工夫	漢字辞典は, 漢字の読み方, 成り立ち, 意味などについて説明した辞書であると述べ, 二人の人物の吹き出しに, 読み方が分からない「連」の漢字について, 漢字辞典で読み方を調べることができるという会話を示している。
		辞典の具体例	○ 「連」の掲載ページの具体例に次の五つの注釈 ・部首・画数 ・読み方(音はかたかな, 訓はひらがな) ・筆順 ・成り立ち・意味 ・その漢字が使われた言葉(「連歌」など五つの語)
		索引の使い方	①「部首さく引」を使ってさがす 例) 連:「しんにょう」 ②「総画さく引」を使ってさがす 例) 求:画数なら七画 ③「音訓さく引」を使ってさがす 例) 努:「努」の音読み「ど」
		調べる活動	○ ——線部の漢字の読み方を三種類のさく引を使って調べましょう。 ・目が覚める, 漢字を覚える, 感覚がなくなる ・かぜを治す, 国を治める, 明治時代, 全治一か月 ○ 次の漢字を使った言葉にはどのようなものがあるか, 漢字辞典を使って調べましょう。 ・発, 重, 登, 神 ○ どのような漢字を調べるときに, どのさく引が便利だったか, 話し合しましょう。

【国語】

学 図	漢字辞典の使い方	導入の工夫	漢字辞典を使うと、漢字の部首や画数、読み方、成り立ち、意味などを知ることができるということを記述し、「約」の部首、画数、読み方、成り立ち、意味を漢字辞典を使って確かめましょうという流れになっている。
		辞典の具体例	○ 「約」の掲載ページの具体例に次の五つの注釈 ・そのページにのっている漢字 ・部首をのぞいた画数・総画数 ・その漢字がどうしてできたかの説明 ・漢字の意味 ・その漢字が上についた熟語（「約数」など二つの語）
		索引の使い方	①部首さくいんを使って引く 例) 三画 ②音訓さくいんを使って引く 例) チョウ ③総画さく引を使って引く 例) 十一画
		調べる活動	○ 漢字辞典の三つの引き方を使って、次の——線部の漢字について、読み方や部首、画数を調べましょう。 ・部首さくいんで（国旗、旗ざお、松竹梅、松原） ・音訓さくいんで（反省、文部科学省、省く） ・総画さくいんで（力士、力仕事、競争、競馬）
教 出	漢字辞典の引き方	導入の工夫	二人の人物と鳥の吹き出しに、「治」の漢字の読みを国語辞典では調べられないが漢字辞典では調べられること、漢字辞典では音訓の読み方や成り立ち、その漢字を用いた様々な言葉が調べられることを示している。
		辞典の具体例	○ 「治」の掲載ページの具体例に次の五つの注釈 ・部首・部首以外の部分の画数 ・総画数 ・漢字の読み方 ・漢字の成り立ちや意味 ・「治」を使った言葉の例（「治まる」など三つの語）
		索引の使い方	①部首さくいん 例) 治：さんずい ②総画さくいん 例) 治：八画 ③音訓さくいん 例) 治：おさーまる、おさーめる、なおーす、なおーる、ジ、チ
		調べる活動	○ 次の＝線の漢字を自分の調べやすい方法で調べ、友達とどの調べ方が調べやすかったか、話し合ってみましょう。いくつかの調べ方が思いうかんだ場合は、どうしてその方法をえらんだのか、考えましょう。（訓、以外、子孫、前兆、家臣、達筆、城下町、刷る、奈落、読本、帰省、塩田、良心、直径、達人）
光 村	漢字辞典の使い方	導入の工夫	二羽の鳥のイラストの吹き出しに、「飛」の漢字の成り立ちや読み方に対する疑問を示し、漢字の読み方や成り立ちや意味、使い方等を知りたいときに漢字辞典を使うとよいことを記述している。
		辞典の具体例	○ 「飛」の掲載ページの具体例に①～④の記号を付し下段に次の四つの注釈 ①読み方 ②成り立ち ③意味 ④その漢字を使った語句（「飛球」など三つの語）
		索引の使い方	①「音訓さくいん」で引く（音訓引き）例) 湖：訓はみずうみ ②「部首さくいん」で引く（部首引き）例) 信：部首は「にんべん」 ③「総画さくいん」で引く（総画引き）例) 世：読み方も部首も分からないときは、「総画さくいん」
		調べる活動	○ 次の漢字の画数を数え、漢字辞典を引いてたしかめましょう。（写、曲、発、起、陽、遊） ○ 漢字辞典を使って、——線部の漢字の読み方、意味、使い方を調べましょう。（校庭で、東西南北をたしかめる。古いお社を見る。愛読書は、「マザー＝テレサ」という本だ。昨夜、旅行の計画を立てた。物事の本を正す。青年が、城の近くを歩いている。）

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	④興味・関心を高めるための工夫
方法	実生活とつながりのある事柄を取り上げた単元名、題材、内容

第5学年 話すこと・聞くこと			
	単元名	題材	内容
東書	○ 問題を解決するために話し合おう	○ 身の回りにある問題	○ 学習の見通し ①議題を決める。 ②話し合いの計画を立てる。 ③グループで話し合う。 (意図を明確にしながらか計画的に話し合う)
学図	○ テーマを決めて討論しよう	○ より良い考え方はどっち？	○ 学習の見通し ①討論の進め方を確かめよう ②論題と役わりを決めよう ③立論を考えよう ④立論を発表しよう ⑤討論会をしよう ⑥ふり返ろう
教出	○ 考えを広げるために、立場を決めて話し合おう	○ AIとの暮らし	○ 学習の進め方 ①テーマを決めて、調べる。 ②話し合いの準備をする。 ③「ミニディベート」を行う。 ④感想を交流する。
光村	○ たがいの立場を明確にして、話し合おう	○ よりよい学校生活のために	○ 学習の進め方 ①学校生活の中から、議題を決める。 ②自分の立場を明確にする。 ③話し合いのしかたを確かめ、進行計画を立てる。 ④計画にそって、グループで話し合う。 ⑤話し合ったことをクラスで共有し、感想を伝え合う。

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤課題解決的な学習を実施するための工夫
方法	課題と学習の進め方

第3学年 読むこと 物語文「モチモチの木」			
	単元名	課題	学習の進め方(手引き)
東書	○ 想ぞうしたことをつたえ合おう	○ 物語の中心人物である豆太は、どのようなせいかくの人物なのだろう。	〈友だちと伝え合おう〉 ○ 豆太がどのようなせいかくの人物なのかを想ぞうして、想ぞうしたことを友だちとつたえ合おう。 ・豆太のせいかくを想ぞうしよう。 ・豆太について想ぞうしたことを友だちとつたえ合おう。 ・豆太について友だちとつたえ合い、どんなことを感じましたか。
学図	○ 人物の変化を読もう	○ 場面のうつりかわりから、人物のせいかくや気持ちの変化を想像しましょう。 ○ 人物のかわったところとかわっていないところをたしかめましょう。	〈絵を比べながら読もう〉 ○ 場面のうつりかわりから、人物のせいかくや気持ちの変化を想像しましょう。人物のかわったところとかわっていないところをたしかめましょう。 ・全体を見通そう ・豆太のせいかくと気持ちを考えよう ・人物の変化をたしかめよう ・考えを発表しよう ・絵をくらべながら読もう
教出	○ 登場人物の気持ちをそうぞうしながら読もう	○ 豆太の気持ちを考えながら読もう。 ○ この物語のおもしろいところをしょうかいしよう。	〈「おすすめ図書カード」を作ろう〉 ○ 登場人物の気持ちをそうぞうしながら読もう ・主な登場人物をたしかめましょう ・豆太の気持ちの変化や、場面ごとの豆太について自分が思ったことや考えたことをまとめ、話し合ひましょう。 ・物語のはじめと終わりの豆太の変化について、自分の考えとその理由を話し合ひましょう。 ・この物語のおもしろいところをしょうかいし合ひましょう。 ・「おすすめ図書カード」を作ろう
光村	○ 登場人物について、話し合おう	○ 「モチモチの木」とはどんな木なのでしょう。 ○ この物語には、「豆太」という男の子が出てきます。「豆太」はどんな人物でしょうか。	〈友だちと交流しよう〉 ○ 登場人物について、話し合おう ・せいかくを表す言葉や、気持ちを表す言葉に気をつけましょう。 ・「豆太」について考えたことを友だちとつたえ合い、考えを深めましょう。 ・物語を読んだら、友だちと交流して、登場人物や物語についての考えを深めましょう。

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑥見通しを立てたり，振り返ったりする学習のための構成上の工夫
方法	学習過程の構成，資料，評価活動

第4学年 書くこと 「新聞作り」					
	単元名	目的	学習過程	資料	評価活動
東書	○ みんなで新聞を作ろう	○ 学校やクラスで起きた出来事取材してグループで新聞を作る。	①新聞作りの計画を立てる。 ②取材して，記事を書く。 ③わり付けをする。 ④新聞を完成させる。	・出来上がり新聞の例 ・記事の下書きの例 ・新聞のわりつけの例 ・グループ活動のイメージイラスト ・「言葉の力」 [付録]新聞のわり付け	友達のグループ新聞を読んで感想を伝え合う。
学図	○ ほうこくしたいことを新聞にまとめて書こう	○ 社会見学に行き分かったことをグループごとに新聞にまとめる。	①取材の計画を立てよう ②資料を整理しよう ③新聞にまとめよう ④新聞を読み合おう ※事前に「レッスン」として新聞について学習する。	・出来上がり新聞の例 ・取材カード ・記事カード ・わりつけの例 ・話し合い活動のイメージイラスト	新聞を読み合い，良いところを伝え合う。
教出	○ 新聞を作ろう	○ 写真や図表を効果的に使って，わかりやすい新聞を作る。	①知らせたいことを決め，調べる。 ②記事のわりつけを考える。 ③・④記事を下書きし，読み返してせいしよする。 ⑤新聞を読み合う。	・新聞とは何か ・わりつけ用紙 ・話し合い活動のイメージイラスト ・出来上がり新聞の例 ・「ここが大事」	ろうかなどにはって読み合う。
光村	○ 事実を分かりやすくほうこくしよう	○ 自分たちが伝えたいことをグループで考え，新聞にまとめる。	①新聞のとくちょうをたしかめよう。 ②どんな新聞を作るかを話し合おう。 ③取材をしよう。 ④わりつけについて話し合おう。 ⑤記事を書こう。 ⑥新聞を仕上げよう。 ⑦読み合って，感想を伝えよう。	・新聞の特徴 ・テーマの例 ・取材の仕方 ・わりつけの例 ・話し合い活動のイメージイラスト ・記事の下書きの例 ・出来上がり新聞の例 ・感想交流の例	ろうかにはってふせんを用意し，いろいろな人に感想を書いてもらう。

【国語】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑦単元や資料等の配列
方法	配列の特徴・単元数, 領域ごとのページ数

	配列の特徴・単元数	領域ごとのページ数							
		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年		
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年から第4学年までは, 上下巻の2冊構成, 第5学年及び第6学年は1冊である。 ○ 第2学年以上の各巻の巻頭に, 「国語の学習の進め方」「〇年で学習する言葉の力」を設けてあり, 年間を通じて「何を, どのように学ぶか」が見通せるようになっている。 ○ 各領域の単元を「つかむ」「取り組む」「ふり返る」の課題解決的な3ステップで組織してある。 ○ 年間総単元数 第1学年: 6単元(下巻のみ) 第2学年~第6学年: 10単元 	知識・技能	言葉	110	157	150	150	142	128
			情報	32	61	114	84	61	100
			言語文化	16	44	26	48	54	34
			話すこと・聞くこと	57	28	36	30	27	39
			書くこと	85	191	186	172	166	146
			読むこと	85	136	138	140	136	136
			入門期	130					
学 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 上下巻の2冊構成である。 ○ 説明文教材の後に「書くこと」の教材が設定されている。 ○ 第6学年には, 「読むこと」と「書くこと」, 「書くこと」と「話すこと・聞くこと」の領域を有機的に関連させた複合単元が設定されている。 ○ 年間総単元数 第1・2学年: 10~14単元 第3・4学年: 11~12単元 第5・6学年: 10~11単元 (第6学年はそのうち二つが複数領域にまたがる。) 	知識・技能	言葉	137	203	215	218	184	214
			情報	26	91	83	83	56	52
			言語文化	14	53	43	49	52	46
			話すこと・聞くこと	16	24	37	35	22	25
			書くこと	35	38	50	47	38	55
			読むこと	93	138	107	125	123	134
			入門期	55					
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 上下巻の2冊構成である。 ○ 一つの領域に集中して学習する単元と, 各領域の学習を組み合わせ, 総合的に展開する単元を配列している。 ○ 年間総単元数 第1学年: 7単元(下巻のみ) 第2学年: 15単元 第3学年: 13単元 第4学年: 14単元 第5学年及び第6学年: 10単元 	知識・技能	言葉	144	203	201	181	164	154
			情報	0	36	42	84	73	47
			言語文化	19	14	42	25	30	32
			話すこと・聞くこと	12	68	38	50	32	50
			書くこと	74	114	172	164	178	119
			読むこと	103	160	139	145	148	131
			入門期	94					
光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年から第4学年までは, 上下巻の2冊構成, 第5学年及び第6学年は1冊である。 ○ 一つの領域に集中して学習する単元と, 各領域の学習を組み合わせ, 総合的に展開する単元を配列している。 ○ 教科書全体が「単元」「小単元」「コラム」「特設単元」で構成されている。 ○ 年間総単元数 第1学年: 7単元(下巻のみ) 第2学年: 9単元 第3学年及び第4学年: 8単元 第5学年及び第6学年: 7単元 	知識・技能	言葉	95	197	199	216	214	184
			情報	28	43	66	74	46	25
			言語文化	28	39	40	39	49	58
			話すこと・聞くこと	16	21	21	21	23	20
			書くこと	52	62	69	61	58	56
			読むこと	84	140	145	154	129	136
			入門期	91					

【国語】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑧伝統と文化に関する内容の記述
方法	伝統的な言語文化に関する単元数・単元名・取り上げられている作品等

	学年	単元数	単元名	取り上げられている作品等
東書	1・2	9	<ul style="list-style-type: none"> ○ かぞえうた ○ かんじのはなし ○ ことばであそぼう ○ むかしばなしをたのしもう ○ 言いつたえられているお話を知ろう ○ きせつの足音 (春・夏) ○ きせつの足音 (秋・冬) ○ むかし話をしようかいしよう ○ おばあちゃんに聞いたよ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数字 ・ 象形文字, 指事文字 ・ 回文 ・ 「かちかち山」「ももたろう」「花さかじいさん」 ・ 「だいだらぼうのお話」 ・ 「ちょうちょう」「うみ」 ・ 「うさぎ」「雪」 ・ 「かさこじぞう」 ・ 十二支, 小の月, いろはうた, いろはがるた, きょう土かるた 等
	3・4	8	<ul style="list-style-type: none"> ○ 慣用句を使おう ○ きせつの足音 (春・夏) ○ きせつの足音 (秋・冬) ○ 俳句に親しむ ○ ことわざと故事成語 ○ 季節の足音 (春・夏) ○ 季節の足音 (秋・冬) ○ 百人一首の世界 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ねこの手もかりたい」「道草を食う」「馬が合う」「たんぼぼ」「いるか」 ・ 「赤とんぼ」, 俳句 ・ 俳句 ・ 「さるも木から落ちる」「五十歩百歩」 ・ 「てんとうむし」, 俳句 ・ 俳句, 短歌, 「手紙」 ・ 百人一首 等
	5・6	13	<ul style="list-style-type: none"> ○ 季節の足音 (春・夏) ○ 古文に親しむ ○ 季節の足音 (秋・冬) ○ 古文のえがく四季 ○ 心が動いたことを三十一音で表そう ○ 季節の足音 (春・夏) ○ 言葉は変わる ○ 漢文に親しむ ○ 日本の文字 ○ 季節の足音 (秋・冬) ○ いにしえの言葉に学ぶ ○ 心が動いたことを十七音で表そう ○ 日本の伝統芸能 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「五月」, 俳句 ・ 「竹取物語」「平家物語」「徒然草」「おくのほそ道」 ・ 「風のあと」, 俳句 ・ 「枕草子」 ・ 短歌 ・ 「春の河」, 俳句 ・ 「竹取物語」 ・ 「百聞は一見に如かず」「論語」「諸葛亮の言葉」「春暁」 ・ 「万葉集」万葉がな, ひらがな, かたかな ・ 俳句, 短歌, 「ふるさと」 ・ 「昔の人からの手紙」 ・ 児童が作った俳句 ・ 能, 狂言, 人形浄瑠璃, 歌舞伎, 落語 等
学図	1・2	9	<ul style="list-style-type: none"> ○ むかしばなしを よもう ○ おはなしがいっぱい ○ きせつのたより (春) ○ かん字のでき方 ○ きせつのたより (夏) ○ ことばであそぼう ○ むかしのものがたりをたのしもう ○ きせつのたより (秋) ○ きせつのたより (冬) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「さるじぞう」 ・ 「わらしべちょうじゃ」「かちかちやま」 等 ・ 春の動植物, 春の七草 ・ 象形文字, 指事文字, 会意文字 ・ 夏の動植物, いえの中のなつ ・ いろはうた ・ 「ヤマタノオロチ」 ・ 秋の動植物, 秋の七草 ・ 冬の動植物, 冬の遊び 等
	3・4	6 (13)	<ul style="list-style-type: none"> ○ きせつのたより (春) ○ 言葉のひびきやリズムを楽しもう 俳句 ○ きせつのたより (夏) ○ きせつのたより (秋) ○ きせつのたより (冬) ○ 漢字のでき方 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 春の行事 ・ 俳句 ・ 夏の行事 ・ 秋の行事 ・ 冬の行事 ・ 象形文字, 指示文字, 会意文字, 形声文字

【国語】

教 出	3 ・ 4	7 (13)	<ul style="list-style-type: none"> ○ きせつのはたより (春) ○ 季節のはたより (夏) ○ 言葉のひびきやリズムを楽しもう 短歌 ○ 季節のはたより (秋) ○ 昔から言い伝えられてきた言葉にふれよう ことわざ・故事成語 ○ 日本各地の短歌 ○ 季節のはたより (冬) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 春を表現する言葉, 俳句 ・ 夏を表現する言葉, 俳句 ・ 短歌 ・ 秋を表現する言葉, 俳句 ・ ことわざ, 故事成語 ・ 短歌 ・ 冬を表現する言葉, 俳句 <p style="text-align: right;">等</p>
	5 ・ 6	17	<ul style="list-style-type: none"> ○ 季節のはたより (春) ○ 季節のはたより (夏) ○ 言葉のいずみ 言葉の文化を体験しよう ○ 方言と共通語 ○ 人形劇 ○ 季節のはたより (秋) ○ 豊かに表現しよう 俳句・短歌を作ろう ○ 季節のはたより (冬) ○ 言葉の文化を体験しよう 文語詩 ○ 言葉のいずみ 日本語の文字の歴史 ○ 季節のはたより (春) ○ 言葉のいずみ 漢字の成り立ち ○ 季節のはたより (夏) ○ 季節のはたより (秋) ○ 言葉の文化を体験しよう 狂言 漢詩 ○ 季節のはたより (冬) ○ 伝統芸能に親しもう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 春を表現する言葉, 俳句 ・ 夏を表現する言葉, 俳句 ・ 「宇治拾遺物語」 ・ 方言, 共通語 ・ 「木竜うるし」 ・ 秋を表現する言葉, 俳句 ・ 児童の作った短歌 ・ 冬を表現する言葉, 俳句 ・ 「やしの実」 ・ 万葉集, ひらがな, かたかな ・ 二十四節気 (春)「春の小川」 ・ 象形文字, 指事文字, 会意文字, 形声文字 ・ 二十四節気 (夏), 「夏は来ぬ」 ・ 二十四節気 (秋), 「もみじ」 ・ 「盆山」「尋胡隠君」 ・ 二十四節気 (冬), 「冬景色」 ・ 「盆山」 <p style="text-align: right;">等</p>
	1 ・ 2	9	<ul style="list-style-type: none"> ○ としょかんへいこう にほんのおはなし ○ かんじのはじまり ○ ぶんか ○ ぶんか しりとりであそぼう ○ 文化 言葉あそびをしよう ○ 文化 いなばのしろうさぎ ○ 場面や人物の様子をくわしく読もう かさこじぞう ○ 文化 むかしのあそび ○ むかしのお話を読もう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「わらしべちょうじゃ」「かぐやひめ」など ・ 象形文字, 指事文字 ・ 「天にのぼったおげやさん」 ・ しりとり ・ 「いろはうた」「おてだまうた」 ・ 「古事記」 ・ 「かさこじぞう」 ・ かるた ・ 「三びきのこぶた」など <p style="text-align: right;">等</p>
3 ・ 4	9	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化 俳句に親しむ ○ きせつのはたよりの言葉を集めよう ○ 文化 ことわざ・慣用句 ○ 文化 十二支と月のよび名 ○ 文化 短歌の世界 ○ 登場人物のせいこくや, 気持ちを想像して読もう ぞろぞろ ○ 文化 「月」のつく言葉 ○ 文化 故事成語 ○ 文化 雪 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 俳句 ・ 俳句 ・ ことわざ, 慣用句 ・ 十二支, 時刻, 方角, 月のよび名 ・ 短歌 ・ 落語「ぞろぞろ」 ・ 「中秋の名月」「お月見」など ・ 「五十歩百歩」「漁夫の利」「蛇足」「矛盾」 ・ 唱歌, 詩, 俳句, 短歌 <p style="text-align: right;">等</p>	
5 ・ 6	14	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化 漢文に親しむ ○ 文化 鳥 ○ 俳句を作ろう ○ 短歌や俳句を楽しもう ○ 文化 「古典」を楽しむ ○ 日本の伝統芸能 ○ 付録 附子 (狂言) ○ 文化 春はあけぼの ○ 文化 雨 ○ 文化 「知恵の言葉」を集めよう ○ 文化 言葉は時代とともに ○ 言葉 日本語の文字 ○ 付録 伝えられてきた作品 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「春暁」「静夜思」「論語」「大学」 ・ 俳句, 短歌, 鳥に関わる言葉 ・ 児童が作った俳句 ・ 短歌, 俳句, 川柳 ・ 「竹取物語」「平家物語」「伊曾保物語」 ・ 能, 狂言, 人形浄瑠璃, 歌舞伎 ・ 「附子」 ・ 「枕草子」 ・ 雨に関わる言葉, 短歌, 俳句, 詩 ・ 教訓, おまじない, ことわざ など ・ 「万葉集」, 短歌, 俳句, 「坊つちやん」「杜子春」 ・ 万葉仮名, 平仮名, 片仮名 ・ 「徒然草」「おくのほそ道」「アイヌ神謡集」 ・ 「おもしろし」 <p style="text-align: right;">等</p>	
		○ 付録 日本生まれの漢字 国字	・ 畑, 働	

【国語】

光 村	1 ・ 2	13	<ul style="list-style-type: none"> ○ おむすびころりん ○ ことばをたのしもう ○ かん字のはなし ○ むかしばなしをよもう ○ きいてたのしもう わらしべちょうじゃ ○ きせつのことば はるがいっぱい ○ 聞いてたのしもう いなばのしろうさぎ ○ きせつのことば なつがいっぱい ○ ことばあそびをしよう ○ きせつのことば 秋がいっぱい ○ 聞いて楽しもう ○ きせつのことば 冬がいっぱい ○ ことばを楽しもう 	<ul style="list-style-type: none"> ・「おむすびころりん」 ・言葉遊び、早口言葉 ・象形文字、指事文字 ・「ジャックと豆の木」「きたかぜとたいよう」 ・「わらしべちょうじゃ」 ・春の動植物、「はながさいた」 ・「いなばのしろうさぎ」 ・夏の動植物、「みんな」 ・かぞえうた、いろはうた など ・秋の動植物、「やま」 ・「せかい一の話」 ・冬の動植物、「ゆき」 ・回文 <p style="text-align: right;">等</p>
	3 ・ 4	16	<ul style="list-style-type: none"> ○ きせつの言葉 春のくらし ○ 声に出して楽しもう 俳句を楽しもう ○ きせつの言葉 夏のくらし ○ きせつの言葉 秋のくらし ○ つたわる言葉 ことわざ・故事成語 ○ 声に出して楽しもう 短歌を楽しもう ○ きせつの言葉 冬のくらし ○ 知ると楽しい「故事成語」 ○ きせつの言葉 春の楽しみ ○ 声に出して楽しもう 短歌・俳句に親しもう(一) ○ 季節の言葉 夏の楽しみ ○ 季節の言葉 秋の楽しみ ○ 伝わる言葉 慣用句 ○ 声に出して楽しもう 短歌・俳句に親しもう(二) ○ 季節の言葉 冬の楽しみ ○ 百人一首に親しもう 	<ul style="list-style-type: none"> ・「みどり」、春の言葉 ・俳句、いろはうた ・「はなび」、夏の言葉 ・「虫の声」、秋の言葉 ・「笑う門には福来る」「五十歩百歩」など ・短歌 ・「ゆき」、冬の言葉 ・「杞憂」「登竜門」「蛇足」「蛭雪の功」 ・春の行事、言葉、俳句 ・短歌、俳句 ・夏の行事、言葉、俳句、短歌 ・秋の行事、言葉、短歌 ・「羽をのばす」など ・短歌、俳句 ・冬の行事、言葉、俳句、春の七草 ・短歌、俳句 <p style="text-align: right;">等</p>
	5 ・ 6	18	<ul style="list-style-type: none"> ○ 季節の言葉 春の空 ○ 言葉をよりすぐって俳句を作ろう 日常を十七音で ○ 声に出して読もう 古典の世界(一) ○ 季節の言葉 夏の夜 ○ 季節の言葉 秋の夕暮れ ○ 伝えられてきた文化 古典芸能の世界-語りで伝える ○ 声に出して読もう 古典の世界(二) ○ 季節の言葉 冬の朝 ○ 落語に親しもう ○ 季節の言葉 春のいぶき ○ 言葉を選んで、短歌を作ろう たのしみは ○ 声に出して楽しもう 天地の文 ○ 季節の言葉 夏のさかり ○ 季節の言葉 秋深し ○ 表現の工夫をとらえて読み、それをいかして書こう 『鳥獣戯画』を読む ○ 伝えられてきた文化 古典芸能の世界-演じて伝える ○ 季節の言葉 冬のおとずれ ○ 言葉 仮名の由来 ○ 時代をこえて伝わる 古典 	<ul style="list-style-type: none"> ・「枕草子」、春の言葉、俳句 ・俳句 ・「竹取物語」「平家物語」「徒然草」「おくのほそ道」 ・「枕草子」、夏の言葉、俳句 ・「枕草子」、秋の言葉、俳句 ・落語 ・「論語」「春暁」 ・「枕草子」、冬の言葉、俳句 ・「寿限無」「まんじゅうこわい」 ・二十四節気(春)、春の短歌、俳句 ・短歌 ・「天地の文」 ・二十四節気(夏)、夏の短歌、俳句 ・二十四節気(秋)、秋の短歌、俳句 ・「鳥獣人物戯画」 ・狂言、能、歌舞伎、人形浄瑠璃、「柿山伏」 ・二十四節気(冬)、冬の短歌、俳句 ・万葉仮名、平仮名、片仮名 ・「古事記」「万葉集」「竹取物語」「枕草子」「源氏物語」「平家物語」「徒然草」「御伽草子」「おくのほそ道」「東海道中膝栗毛」 <p style="text-align: right;">等</p>

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑨本文記述との適切な関連付けがなされた図表等の活用
方法	文章と図表等との関連について考えさせる記述

第5学年		
	単元名及び内容	文章と図表等との関連について考えさせる記述
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「書き手の意図を考えよう 新聞記事を読み比べよう」 ・ 同じ出来事について、それぞれの新聞記事はどのように伝えているのか、記事と写真との関係に注意しながら、書き手の意図を読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新聞の紙面「記事の構成」 ○ 写真「アップ」「ロング」 ○ 「A社の記事」「B社の記事」 ・ 記事と写真の関係を読み取ろう。 ・ A社とB社の写真の役割について、書き手の意図と関係付けながら考えましょう。 ・ 写真がけいさいされていなかった場合と比べて考えてみましょう。 ・ 紙面の印象や、記事に対する読み手の興味はどう変わるでしょうか。 ・ 記事の内容を理解するのに、ちがいはあるでしょうか。 ・ 書き手のメッセージの伝わり方は、どう変わるでしょうか。 ・ A社の写真とB社の写真を入れかえたらどうなるか考えてみましょう。
学 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「新聞の情報を読み取ろう」 ・ 記事と写真・図表を結び付けて新聞記事を読み、書き手の意図をとらえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新聞の紙面「記事の構成」 ○ 「A社の記事」「B社の記事」 ・ 記事の構成をとらえよう ・ 写真・図表 ・ 記事の内容や関係することがらを、より分かりやすく伝えるためにそえたもの。 ・ 二つの新聞記事を読み比べよう ・ 見出しや本文、使っている写真、図表などのちがいから、書き手の意図を考えましょう。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「多様な情報を読み、根拠となる資料にもとづいて、考えを深めよう」 ・ 「世界遺産 白神山地からの提言―意見文を書こう」の二つの説明文と七つの資料を読んで、自然保護についての自分の意見を根拠となる資料に基づいて書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真「ブナの森におおわれた白神山地」「ブナの森の中」「カモシカ」「クマゲラ」「イヌワシ」「シラガミクワガタ」「トガクシソウ」「アオモリマンテマ」 ○ 地図「白神山地の位置と世界遺産登録地域」 ○ 資料2 「入山届出書の例」 ○ 資料3 「新聞記事より」 ○ 資料4 棒グラフ「暗門の滝をおとずれた観光客数の変化」 ・ できるだけたくさんの資料を比べて自分の考えの根拠をはっきりさせよう。 ・ 「資料3」から、人が核心地域に入ると、自然にえいきょうが出てしまう場合も考えられるな。 ・ 〈ふり返ろう〉 ・ 複数の資料を比べながら読み、自分の考えをまとめることができたか、自分の考えをまとめたり、伝えたりするために資料を活用することができたか。
光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「資料を用いた文章の効果を考え、それをいかして書こう」 ・ 「固有種が教えてくれること」を読み、資料を用いた文章の効果を考え、それをいかして意見文を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料1 地図・表「日本とイギリスの陸生ほ乳類」 ○ 資料2 年表・図「日本列島の成り立ち」 ○ 資料3・4 図「1年間の平均気温」「標高」 ○ 資料5 写真「絶滅したとされる動物」 ○ 資料6 棒グラフ「天然林等面積の推移」 ○ 資料7 折れ線グラフ「全国のニホンカモシカほかく数」 ・ 文章の中で用いられている図表やグラフ、写真を、文章との関わりに注意して読もう。 ・ それぞれ、文章のどの部分と対応し、何が読み取れるか。 ・ それらの資料があることには、どのような効果があるか。 ・ 図表などの効果を考えるとき ・ 〈筆者の立場から考える〉 ・ 筆者は、この図表を示すことで、何を伝えたいのではないか。 ・ 〈読み手の立場から考える〉 ・ もし、このグラフがなかったら―。 ・ 文章と図表を合わせると、一ということが言える。

【国語】

観点	(工) 内容の表現・表記
視点	⑩ 巻頭の示し方
方法	巻頭の示し方と内容

巻頭の示し方と内容		
東 書	学習の進め方	○ 国語の学習の進め方 *第2 学年以上 ・「つかむ」, 「取り組む」「ふり返る」という学習過程を示している。
	つけたい力・ 学習すること	○ □年で学習する言葉の力(折込ページ) *第2 学年以上に掲載 ・「話す・聞く」「書く」「読む」の3 領域に分け, 各単元で身につける言葉の力を一覧で示している。 ・1 年間で頑張りたいことやできるようになりたいことを合わせて記載している。
	前学年の学年 のふり返り	● □年(前学年) で学習した☆言葉の力(巻末) ・「話す・聞く」「書く」「読む」の3 項目で示している。
学 図	前学年の学習 のふり返り	○ □年生の国語の学習を始めましょう *第3 学年以上 ・「言葉の働き・使い方」「関係づけ・整理のしかた」「伝えられてきた言葉」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の6 項目で示している。
	つけたい力・ 学習すること	○ □年生でつけたい力(折込ページ) *第3 学年以上 ・「知識及び技能」を3 項目に分け指導事項を示し, 下に単元名を示している。 ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の3 領域に分け, 指導事項と単元名を示している。 ・「学びに向かう力, 人間性等」の目標を示している。
	学習の進め方	○ 国語の学習の進め方を確かめよう ・「つかむ」, 「見方や考え方を学ぶ」, 「まとめる・ふり返る」, 「広げる」という学習過程を示している。
教 出	つけたい力・ 学習すること	○ □年生で学ぶこと ・「話す・聞く」「書く」「読む」の3 領域に分け, 「単元名」「めあて」「ここが大事」を示し, 学習順に道で繋ぎ, 地図として示している。 ・「言語」「漢字の広場」「文化」「読書」ごとに, 単元のつながりを示している。
	学習の進め方	● 「話す・聞く」「書く」の単元の最初のページには, 「見通しをもとう」から「ふり返ろう」まで単元の学習過程を示している。
光 村	学習の進め方	○ 国語の学びを見わたそう *第2 学年以上 ・「初めに」, 「読む」「書く」「話す・聞く」, 「ふりかえる」, 「学習や生活にいかす」という学習過程を示している。
	つけたい力・ 学習すること	○ □年生で学習すること(折込ページ) *第2 学年以上 ・「話す・聞く」「書く」「読む」の3 領域ごとに, 教材名・身につけたい力(たいせつ)・学習用語を示している。
	前学年の学習 のふり返り	○ □年生(前学年) の学びを確かめよう ・学習することの下に, 「話す・聞く」「書く」「読む」の3 領域ごとに学習過程に沿って示している。
<p>・詩, 目次は除く。</p> <p>・●: 他社は巻頭で示している内容で, 巻頭以外で示しているものを記載。</p>		

【国語】

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	㊱考えを伝えるなどして話し合う活動の工夫
方法	単元名, 例示されているテーマ・議題, 話し合いの形態

		第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
東 書	単元名	グループの合言葉を決めよう	学校についてしょうかいすることを考えよう	問題を解決するために話し合おう	話し合って考えを深めよう
	テーマ 議題	運動会の練習をみんなががんばれるような今月のグループの合言葉	入学する子たちに, 学校のどんなところをしようかいしたいか	高学年の図書館利用を増やすために図書委員会でどんな取り組みをすればよいか	観光案内では, 方言と共通語のどちらを使うのがよいか
	形態	グループでの話し合い	グループの提案をもとにクラス全体で話し合う	グループでの話し合い	グループでの話し合い
学 図	単元名	やくわりを決めて話し合おう	問題解決のために話し合おう	テーマを決めて討論しよう	立場を決めて討論しよう
	テーマ 議題	3組がもっとなかよくなるためのクラスレクをみんなで考えよう	安全に登下校するためには, どうしたらよいか	学校の昼食はお弁当にしたほうがよい	地球環境を守るために, 私たちに何ができるか
	形態	クラス全体での話し合い(学級会)	グループで作成した安全マップをもとに, クラス全体で話し合う	討論会	パネルディスカッション
教 出	単元名	役割を決めて話し合う	目的や進め方をたしかめて話し合おう	考えを広げるために, 立場を決めて話し合おう	立場を決めて, 主張を明確にしよう
	テーマ 議題	ほけん室を表す絵文字を考える	ちいきの人と楽しむ新スポーツをよりよくする	AI との暮らし	災害から身を守るためには何が必要か
	形態	グループでの話し合い	クラス全体での話し合い	ミニディベート	パネルディスカッション
光 村	単元名	進行を考えながら話し合おう	役わりをいしきしながら話し合おう	たがいの立場を明確にして, 話し合おう	目的や条件に応じて, 計画的に話し合おう
	テーマ 議題	一年生が本をすきになってくれるような, 読み聞かせの本を決める	ちいきの学習でお世話になった方へのお礼の会で何をするか	階段やわたりろう下をきれいに保つために, 何ができるか	交流週間に, 一年生とどんな遊びをしたらよいかを班ごとに考える
	形態	班での話し合い	クラス全体での話し合い	グループでの話し合い後クラスで共有	グループでの話し合い後クラスで共有

【国語】

観点	(才) 言語活動の充実
視点	⑫学校図書館機能の利活用
方法	学校図書館等の利活用の仕方について示されている内容

	単元名 (ページ数)	内容
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年上「としょかんはどんなところ」(2) ○ 第2学年上「としょかんへ行こう」(4) ○ 第3学年上「図書館へ行こう」(4) ○ 第3学年下「目次やさくいんを活用しよう」(2) ○ 第4学年上「図書館へ行こう」(4) ○ 第4学年下「目的に合わせて調べよう」(2) ○ 第5学年「図書館へ行こう」(4) ○ 第6学年「図書館へ行こう」(4) 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館での約束 ・図書館での約束と本のなかま分け, 司書の先生 ・本のなかま分け (日本十進分類法) ・百科事典や図鑑などの調べ方 ・日本十進分類法 (NDC) の仕組み ・本のラベルの数字と分類 ・百科事典の調べ方 ・引用の仕方 ・日本十進分類法 (NDC) の仕組みと活用の仕方, 請求記号 ・日本十進分類法 (NDC), 地域の図書館, 資料館, 科学館等の活用の仕方
学 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年上「ほんをよもう」(2) ○ 第1学年下「ずかんをつかってしらべよう」(2) ○ 第2学年上「ずかんをつかってまとめよう」(2) 資料編「図書かんに行って読もう」(2) ○ 第3学年上「百科事典」を引いて調べよう (2) 資料編「学校図書館で本をさがそう」(2) ○ 第4学年上「百科事典」を使って, 調べることを決めよう (2) 資料編「地いきの図書館を利用しよう」(2) ○ 第5学年上「年鑑」を使って調べよう (2) ○ 第6学年上資料編「目的に応じて調べよう」(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書室の利用, 約束 ・「目次」や「索引」 ・図鑑の調べ方, 図鑑を使ったまとめ方 ・本の見つけ方 ・百科事典について, 百科事典の使い方 ・本の分類と分類記号, 本のつくり ・百科事典の調べ方 ・地域の図書館の利用, 本の探し方 (館内案内図, パソコン検索, 司書) ・「年鑑」の統計資料の調べ方 ・図書館, 博物館や資料館, インターネット, 取材での調べ方
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年上「としょかんへいこう」(2) ○ 第2学年上「図書館で本をさがそう」(4) ○ 第3学年上「本で調べよう」(4) ○ 第4学年上「分類をもとに本を見つけてよう」(4) 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の利用 ・図書館マップによる本の分類, 本の探し方 ・目次や索引の使い方, 前書き・後書き, 奥付「読書カード」の書き方 ・本の分類 (日本十進分類法と分類記号, 本のラベルの見方)
光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年上「としょかんへいこう」(2) ○ 第1学年上「としょかんとなかよし」(2) ○ 第2学年上「図書館たんけん」(2) ○ 第3学年上「図書館たんていだん」(2) ○ 第3学年下コラム「科学読み物での調べ方」(1) ○ 第4学年上「図書館の達人になろう」(2) ○ 第4学年下コラム「百科事典での調べ方」(1) ○ 第5学年「図書館を使いこなそう」(2) ○ 第6学年「地域の施設を活用しよう」(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の利用, 約束 ・本の探し方 ・図書館の本の分け方・並べ方 ・本の分類, 本のつくり ・目次や検索の調べ方, 奥付について ・地域の図書館での本の探し方 (ラベル, 本の紹介コーナー, 案内図, 検索用コンピュータ, 本以外の資料) ・見出し語の見つけ方 (背, 索引の巻, ページ) ・日本十進分類法, 調べ方 (百科事典, 司書の先生, インターネットで検索), 記録の例 ・公共図書館, 文学館, 博物館・資料館, 記録カードの書き方

【国語】